

山の学校

Ludus Collinus



一般向け語学クラスの一部を、以下にご紹介致します。

漢文入門

(裏面、「新設クラス紹介」のつづき)
 私の答えは、似ているところも、違っているところもある、という意地悪なものです。
 杜甫の詩を味わうには、新緑にすがすがしさを覚え、遠くに暮らす友人を気にかける心の豊かさが大切です。劉備や孔明たちは、見たこともない土地を駆けまわり、聞いたこともない役職に就いています。孔子はときに変わったことを言い出しますが、素直に「はい」と従ってください。口答えをすればはいけません。これが違っているところです。
 似ているところは、(もうお気づきかも知れませんが、)やはりどれも漢文だということです。そして、漢詩、

歴史書、思想書、どの種類の漢文を読むのにも必要なのが、訓読という方法です。
 訓読とはなにかと言えば、中国語の規則をひとつひとつ日本語の規則に置き換えて読むやり方のことです。この方法はとても良くできているので、ほとんどどのような文章にも対応することができます。訓読を身につけることは決して容易なことではありません。ですが、どんな規則でも数には限りがありますから、途中まで憶えてしまえば、あとは応用の繰り返しでどうにかなるものです。もっと難しいのは、夏の夕陽の鮮やかさに驚いたり、知らない人の名前をとことんまで調べたり、母親にとっての孝行息子でいることの方です。
 漢文訓読のなかで使われることばは、当然のことながら私たちの日常の言語

ではありません。では、古代の人にとってはどうだったのでしょうか。平安時代の貴族も、江戸時代の武士も、漢文を読むのはとても得意でしたが、彼らも漢文訓読のような日本語で家族や同僚と話していたわけではありません。漢籍を読むときや、自分で漢詩を作るときなどに、訓読の知識を活かしていたに過ぎないのです。最初は苦労して勉強したはずですが。
 私たちが漢文訓読を学習することは、あるいは古代の人たちの営みを再現することと言えるのかも知れません。

(文責 木村亮太)

ラテン語初級文法

<受講者の感想>

私は 2009 年度に山下大吾先生のラテン語初級文法を受講しました。受講しよ

うと思った最大の理由は英語の理解を深めたいということでした。また、単にラテン語のタベなどでの雰囲気には憧れたという部分もあります。
 大学時代の第二外国語ではあまり理解できず苦しい思い出しか残っていなかったものでついていけるか不安でしたが、それは杞憂に過ぎませんでした。先生が受講生の様子を見て難所をもうまく導いてくださったので、あっという間に初級文法を一通り終えることができました。そのおかげで語学全般に対する苦手意識もなくなってきたように感じます。
 その後、当初の目標通りに英語への理解が深まったという手ごたえを得ております。語彙を増やすためには語源を考えるのが有効な方法であることは以前から薄々気づいていましたが、その確信を得ました。新たな複合語を作る際に子音が変化する法則などを教えていただき、これまではぼんやりと考えていたことがか

なりははっきりしました。ラテン語の文法ではやはり活用と格変化に苦労しました。ということは逆に言うと、英語の文法では活用と格変化が極めて少ないかわりに語順の制約や助動詞、慣用表現が多いということです。そのことに気づいただけでも大きな収穫です。
 自分よりも年長の方と机を並べて共に学んだということそのものもよい思い出です。山を登って俗世から離れた静かな教室で、遠い昔のローマ帝国の時代の逸話などを聞く時間は、慌ただしい一週間の中で貴重な時間でした。時代は変わっても、いかに生きるかといった根本の部分には共通するところが大きいでしょう。
 私などはラテン語に少し触れただけで大したことは言えません。それでもせめて雰囲気だけでも伝えられたらと思ひ筆を取りました。(A. Nさん)

フランス語

日本とフランスは、文化的な交流がさかんなことで知られています。日本では、グルメからアートまで、さまざまな分野でフランスのものが人気ですし、一方フランスでも、伝統的な日本文化はもちろんのこと、近年では日本のポップカルチャーにも注目が集まってきています。
 さて、もしこうした文化的なことに興味をお持ちでしたら、フランス語を学ばれることをぜひおすすめします。言葉を知ることによって、フランス文化への理解はずっと深まりますし、またそれは、逆にフランスの人たちに日本の魅力を伝えるさいにも役立つでしょう。フランス語はなんとなく難しそう、とお感じでしょうか。ご安心ください。このクラスでは、初級文法からゆっくり、じっくり進んでいきますし、少人数制で、疑問点もすぐに質問していただけます。さあ、フランス語に親しんで、少し世界を広げてみませんか。(文責 武田宙也)

■秋学期の時間割

■小学生 ■中学生 ■高校生 ■一般

	10:40 ~ 12:00	2:10 ~ 3:30	4:20 ~ 5:20	5:30 ~ 6:30	6:40 ~ 8:00	8:10 ~ 9:30	
月			つくる 4:30 ~ 6:00			高校英語 A	
火			かず1~2年	ことば3~4年A	中学ことば	中1~2英語の基本	
水		経済学入門 ※15:30~16:50	しぜんA/かいがA 3:50 ~ 5:20	かず5年A	ギリシャ語入門A	ギリシャ語初級講読	
木			ことば1~2年	ことば3~4年B	中3英語の基本	中学数学	
金			かず4年A	かず4~5年B 5:30 ~ 6:45	かず6年	歴史入門 (高校)	
土					古文講読 (高校~一般)	ラテン語初級講読 A	
日			英語一般	ことば6年	英語の基本 (中・高生)	高校数学	
月			フランス語入門	ラテン語初級講読 B	しぜんB/かいがB 3:50 ~ 5:20	ウェブプログラミング入門 5:10 ~ 6:30 隔週	読書会 (アエネイス)
火					ことば3~4年C	かず3年B	ユークリッド幾何 (~8:00) /ロボット工作 (~8:30)
水					ことば5~6年B	かず3年A	ギリシャ語中級講読
木							ラテン語初級講読 C
金							
土							
日							
月							
火							
水							
木							
金							
土							
日							

※一般クラスでは、受講生と講師が相互に都合を合わせて時間帯を決める場合がございます。

★通信講座(ギリシャ語・ラテン語)もございます。
 資料請求やご質問など、お気軽にお問い合わせ下さい。
 ★クラスの詳細や時間割はホームページでもご覧頂けます。
<http://www.kitashirakawa.jp/yama-no-gakko>

山の学校
 TEL: 075-781-3215
 FAX: 075-781-6073
 E-mail: taro@kitashirakawa.jp

■秋学期のスケジュール 1クラス全12回(隔週クラスは6回) 2011年度

	月	火	水	木	金	土
8月	29	(休)	31			
9月	5 * (1)	6 ○ (1)	7	1 ○ (1)	2 ○ (1)	3 □ (1)
	12	13 * (1)	14	8 * (1)	9 * (1)	10 ※ (1)
	(休)	20 ○ (2)	21	15 ○ (2)	16 ○ (2)	17 □ (2)
10月	26 * (2)	27 * (2)	28	22 * (2)	(休)	24 ※ (2)
	3	4 ○ (3)	5	29 ○ (3)	30 * (2)	1 □ (3)
	(休)	11 * (3)	12	6 * (3)	7 ○ (3)	8 ※ (3)
11月	17 * (3)	18 ○ (4)	19	13 ○ (4)	14 * (3)	15 □ (4)
	24	25 * (4)	26	20 * (4)	21 ○ (4)	22 ※ (4)
	31 * (4)			27 ○ (5)	28 * (4)	29 □ (5)
12月		1 ○ (5)	2	(休)	4 ○ (5)	
	7	8 * (5)	9	10 * (5)	11 * (5)	12 □ (6) ※ (5)
	14 * (5)	15 ○ (6)	16	17 ○ (6)	18 ○ (6)	
1月	21	22 * (6)	(休)	24 * (6)	25 * (6)	26 ※ (6)
	28 * (6)	(29 休)	(30 休)	(12/1 休)	(12/2 休)	(12/3 休)

- ・クラスの時間
 小学生：60分授業
 (「しぜん」「かいが」「つくる」90分隔週)
 中学生～一般：80分授業
- ※隔週クラス(全6回)の開講日
- ・「つくる」… 月曜日の*印
- ・「しぜんA(火曜)」 火曜日の○印
- ・「しぜんB(木曜)」 木曜日の○印
- ・「かいがA(火曜)」 火曜日の*印
- ・「かいがB(木曜)」 木曜日の*印
- ・「ウェブプログラミング入門」 木曜日○印
- ・「ユークリッド」 金曜日の○印
- ・「ロボット工作」 金曜日の*印
- ・「調査研究入門」 金曜日の○印
- ・「ギリシャ語入門B」 隔週土曜日